

継続的な課題として
考えられる内容

叙述の仕方の確認

(一文を主語を補って二文にする)

問題の趣旨

書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることができる。

学習指導要領における領域・内容

[第1学年] B 書くこと
エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

【平成25年度】

2 私^①は、もうすぐ始まる職場体験学習に少し不安を感じていますが、私たちを成長させてくれる大切な学習です。には二つの内容が含まれています。次の条件にしたがって書きかえなさい。

○ 意味は変えずに二つの文にすること。
○ 二文めの始めには接続詞を使い、「学習です。」に対する主語を補うこと。

通過率30.5%

【平成26年度】

2 私^②も、いつか電子辞書を使いたいと思っていて、軽くて持ち運べるという点でとても便利な道具です。には二つの内容がふくまれています。次の条件にしたがって書きかえなさい。

○ 意味は変えずに二つの文にすること。
○ 二文めには「道具です。」に対する主語を補うこと。

通過率57.4%

【平成27年度】

2 山本^③さんは、「鑑賞文の下書き」の平和は世界の人の願いで、改めてこの切手から平和の大切さを感じる事ができました。には、二つの内容がふくまれていることに気がつき、直すことにしました。次の条件1と条件2にしたがって書きかえなさい。

条件1 意味は変えずに二つの文にすること。
条件2 二文めには「できました」に対する主語を補うこと。

通過率34.3%

【平成28年度】

3 山本^④さんは、「言葉の意味のとりえ方は、時代とともに変わってきているので、相手がどのような意味で言葉を使っているかを考えながら、コミュニケーションを図っていきなさい。」には、二つの内容がふくまれていることに気がつき、書き直すことにしました。次の条件1と条件2にしたがって書きかえなさい。

条件1 意味は変えずに二つの文にすること。
条件2 二文めには「図っていきなさい」に対する主語を補うこと。

通過率35.9%

【平成29年度】

3 古川^⑤さんは、記事のまとめとして、次の文を書きました。しかし、それを保健委員で読み合ったところ、二つの内容がふくまれていると指摘を受け、書き直すことにしました。あとの条件1と条件2にしたがって書きかえなさい。

朝ごはんには、体温の上昇、エネルギー源や栄養素の補給などのよい効果があるので、これから生活リズムを見直し、心身ともに健康な生活を送るべきである。

条件1 意味は変えずに二つの文にすること。
条件2 二文めには「送るべきである」に対する主語を補うこと。

通過率34.6%

内容の系統

第1・2学年書くこと
エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気が付き、正すこと。

第1・2学年 伝国イ(カ)
・主語と述語との関係

伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

第3・4学年書くこと
オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

第3・4学年 伝国イ(キ)(ク)
・修飾と被修飾との関係、文の構成
・指示語や接続語の役割

第5・6学年書くこと
オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

第5・6学年 伝国イ(オ)(カ)(キ)
・語句と語句との関係
・語感、言葉の使い方に対する感覚
・文や文章の構成

中学校第1学年 書くこと
エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。

中学校第2学年 書くこと
エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。

中学校第3学年 書くこと
ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。



平成25年度から同様の力を問う問題を出題していますが、通過率を見ると、継続的に課題であることがわかります。なお、平成26年度は他の問題に比べて通過率が高くなっています。これは、二文目に補う主語が、「電子辞書」という文中の言葉であったことに加え、文末の「とても便利な道具です」という表現と結びつきやすい言葉であったためであると考えられます。平成27年度以降の問題は、自分で主語となる言葉を捉え、補う必要があります。

通過率の推移

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H29 自校
通過率(%)	30.5	57.4	34.3	35.9	34.6	

※「叙述の仕方の確認」に関する問題は、平成25年度より出題。

解答類型を基に生徒の誤答を分析し、
個々のつまずきを把握しましょう。



誤答(平成 29 年度)と分析

誤答と無解答	H29 (%)	自校 (%)
条件①「『…よい効果があるので、』で文を分け、二文にしている。」を満たしているが、条件②「『送るべきである』に対応すると考えられる主語を補って二文目を適切に書いている。」を満たしていないもの。	43.3	
条件①を満たしていないが、条件②を満たしているもの。	1.2	
上記以外の解答	11.4	
無解答	9.5	

継続的な課題

- 複数の内容を一文で表している文を、適切な主語を補って二文に書き分けることができていない。

【分析】

誤答から見えてくるのは、主語に対する理解が十分ではないのではないかという実態です。では、生徒の主語に対する理解はどの程度なのでしょう。以下に示すのは、これまで出題してきた「主語・述語の関係」（平成 20 年度以前は「単語の類別」として出題）の通過率の推移です。

「主語・述語の関係」の通過率の推移

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
通過率(%)	35.5	51.7	51.9	63.2	40.1	57.1	63.8	63.2	70.8	71.1	65.6	75.6	79.8

【平成 17 年度】通過率 35.5%

次の文の 読んだ に対する主語になっている語句を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア図書館で、¹私たちは、^ウゆっくり、^エ本を 読んだ。



通過率が 44.3 ポイント改善

【平成 29 年度】通過率 79.8%

次の文の「言った」に対する主語はどれですか。次のア～カの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア僕は、¹彼に、^ウ僕の、^エおもちゃを、^オみんな、^カやると 言った。

上記の結果から分かるように、文章中の述語に対する主語は何かを判別することに対する通過率は平成 17 年度には 35.5%でしたが、通過率は徐々に上がり、平成 29 年度には 79.8%の通過率となりました。

学校での授業改善等の取組により、生徒の主語を捉える力は高まっていると言えます。しかし、主語が省略された文において、文脈を捉え、動作等に着目し、その主体となる主語が何であるかを判断し補うことには、「叙述の仕方の確認」の誤答状況から見ても、依然として課題があると言えます。

【今後の指導に向けて】

主語については、学習指導要領上では主に小学校の指導事項ですが、生徒の個々の実態を踏まえ、中学校でも課題意識をもって指導することが大切です。まずは、様々な文から主語を捉えさせる指導を、今後も継続して行うことが大切です。

一方で、日本語の場合、必ずしもどの文にも主語があるわけではなく、主語を省略した文も多く存在します。そのため、私達は、例え主語が省略されていても、生徒は主語を捉えながら読めていると思いがちですが、実際に生徒が適切に主語を捉えながら適切に読めているかどうかについては、注意を払う必要があります。主語を適切に捉えられなければ、文章を正しく理解することはできません。様々な文章を読ませる際には、「この文の主語は誰？」といった具合に、機会を見て生徒に確認させる等の指導の工夫が大切です。

また、実際に主語を補って一文を二文に分ける学習活動を設定し、推敲前後の文を比較させて、主語を明確化することで、読みやすくなったり相手に伝わりやすくなったりしたという実感をもたせる指導を行うことも考えられます。

なお、「叙述の仕方の確認」に関する指導改善のポイントについては、平成 25 年度から平成 28 年度までの学力調査報告書に掲載しています。そちらも合わせて御覧ください。

授業改善のポイント

- 主語を補うことで、文章が読みやすくなったり相手に伝わりやすくなったりしたという実感をもたせる指導を行いましょ。
- 例えば、三人称で書かれた物語を一人称の物語に書きかえるといった、主語と述語との関係を意識する必然性のある言語活動を仕組みましょ。
- 普段の授業でも生徒に、文脈を捉えさせながら「この文の動作の主体は誰？」、「この文に主語を補うなら？」と問いかけ、確認させるなど、主語と述語との関係を意識させる取組を行いましょ。

継続的な課題として
考えられる内容

登場人物の心情の把握

問題の趣旨

文章の展開に則して、登場人物の心情を的確に捉えることができる。

学習指導要領における領域・内容

【第1学年】 C 読むこと
ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

【平成15年度】

④ 自転車に乗って、結果を見に行ったの。とありますが、お母さんがわざわざ結果を見に行ったのはどのような気持ちからですか。六十字程度で書きなさい。

【正答例】おばあさんが「お気をつけくださいませ。」と書いたビニール袋が回収されているか、とても不安であり、回収されているようにも立っても立ってはいられない気持ち

通過率 20.3%

【平成23年度】

【文章を読んだ二人の生徒の会話】を使った出題
木下「確かに最初は「B」を感じていたよね。でも、「体に穴が開いていた」という表現から最後までの内容を読み進めると、「ぼく」は「I」を感じるようになっていくことが分かるよ。」

I には、「ぼく」の気持ちが入ります。後の文に続くように、十五字以内で書きなさい。

【正答例】自分の居場所がないという不安

通過率 27.5%

【平成27年度】

杉みき子「小さな町の風景」より出題
【文章を読んだ二人の生徒の会話】を使った出題
小林「もしかしたら少女は、
で考えていたかもしれないね。」
というこま

には、少女がどのようなことを考えていたかを表す言葉が入ります。あとの文に続くように、十字以上、二十字以内で書きなさい。

【正答例】これから先の人生を前向きに生きていこう

通過率 19.4%

内容の系統

小学校第1学年及び第2学年
読むこと ウ
場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

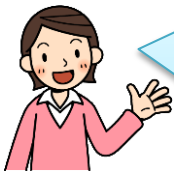
第1学年 読むこと ウ
場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

小学校第3学年及び第4学年
読むこと ウ
場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

第2学年 読むこと イ
文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

小学校第5学年及び第6学年
読むこと エ
登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

第3学年 読むこと イ
文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。



上記の3問は、これまでの「基礎・基本」定着状況調査において通過率が低かった「登場人物の心情の把握」の問題です。これまでの報告書では、「登場人物のものの見方、考え方を表面的なことしか読み取れていない。」(平成15年)、「場面の展開や登場人物の言動等に注意して読むことや、心情が表れている叙述を基に自分の考えをまとめることができていない。」(平成23年)、「象徴性のある叙述と関連付けながら心情を捉えることができていない。」(平成27年)という分析がされています。

通過率の推移

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H25	H27
通過率(%)	20.3	38.2	54.2	71.6	66.2	63.5	44.0	51.4	27.5	65.2	19.4

※「登場人物の心情の把握」のうち、**記述式**の推移

継続的な課題

○ 文章の展開に則し、直接的な心情を表す叙述に加え、象徴性や暗示性の高い叙述と関連付けながら、登場人物の心情を的確に捉えることには課題がある。

生徒の登場人物の心情を的確に捉える力は、継続的な課題であると言えます。では、心情を的確に捉えるために必要な読みの、どの段階で、生徒はつまずいているのでしょうか。心情を的確に捉えるためには、登場人物の心情が変化した要因を捉えることが必要となりますが、生徒は文章中の様々な叙述を関連付けながら変化の要因を捉えることはできているのでしょうか。そこで、今年度は、心情そのものを問うのではなく、心情の変化の要因を読むことに焦点を当てて出題してみました。



解答類型を基に生徒の誤答を分析し、個々のつまずきを把握しましょう。

平成 29 年度の問題及び解答類型と分析

正誤	解答類型	割合 (%)	自校 (%)
○	次の三つの条件を満たしていること。 ① 「ぼく」が心配してほしかったのは、ひざの痛みによってバスケットボールができなくなるという自分のことである、という趣旨の内容を書いている。 ② 岡野が心配したことは、「ぼく」が新人戦に間に合うかどうかというチームのこのことである、という趣旨の内容を書いている。 ③50 字以上 100 字以内で書いている。	61.4	
×	条件①、③を満たしているが、条件②を満たしていないもの。	3.8	
×	条件②、③を満たしているが、条件①を満たしていないもの。	6.8	
×	上記以外の解答	17.3	
—	無解答	10.7	

重松清 「エイジ」より出題

2 次の文中には、この文章を読んだ二人の生徒の会話が書かれています。あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

平本 (1) 「ぼく」と岡野の関係が壊れてしまう最大のきっかけが「新人戦に間に合うんだろ」という岡野の言葉だよ。その言葉を聞いて、「胸の奥が急に冷え冷えとした」と大きなショックを受けているね。でも「心配した顔と声だった」と感じているのに「ぼく」がショックを受けているのはなぜだろう。

(2) 生徒の会話の中で、平本さんは「でも「心配した顔と声だった」と感じているのに「ぼく」がショックを受けているのはなぜだろう」と言っています。「ぼく」がショックを受けた理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 「ぼく」が心配してほしかったことと、岡野が心配したことの両方に触れること。

条件2 五十文字以上百字以内で書くこと。

【正答例】「ぼく」は、ひざの痛みによってバスケットボールができなくなるかもしれないという自分のことを心配してほしかったのに、岡野が新人戦に間に合うかどうかというチームのこのことを心配していると感じたから。

【分析】

心情の変化の要因を読む問題の通過率は61.4%と、心情を的確に捉える問題と比較して、高い傾向があることが分かりました。問題によって取り上げた物語が異なるため一概には言えませんが、生徒は、登場人物の心情が変化した要因を、文章中の様々な叙述と関連付けながら捉えることは比較的できていると考えられます。生徒のつまずきは、読み取ったことを基に、登場人物の心情がどう変わったかを自分の言葉で表現することにあると言えるのではないのでしょうか。

【今後の指導に向けて】

これまでの報告書では、「登場人物の心情の把握」に関して、次のように指導改善の在り方を提示してきました。

- ・文章のあらすじを大まかに確認させた上で、場面ごとの展開を読み取らせましょう。
- ・登場人物の心情が表れている言葉（直接的な心情表現や間接的な心情表現）を手掛かりに、心情やその変化を捉えさせましょう。（平成22年報告書より）
- ・登場人物の心情を捉えさせるには、まず作品全体の時間的、空間的な場面の展開や登場人物の変容などを大まかに捉えさせておくことが大切です。その上で、心情を表す象徴性や暗示性の高い叙述に着目させ、そこから考えられる心情について、根拠となる叙述を明確にして話し合いながら自分の考えを筋道立ててまとめる活動を仕組みましょう。（平成27年報告書より）

この他にも、登場人物の心情を自分の言葉で表現するための語彙を豊かにする指導も大切です。語彙指導の充実には、新学習指導要領でも改訂の要点として取り上げられています。

なお、平成18年度と平成29年度の学校質問紙と生徒質問紙を比較すると、次のようになります。

学校質問紙調査【教科の指導に関する調査】			生徒質問紙調査【教科の学習に関する調査】		
内容	肯定的回答 (%)		内容	肯定的回答 (%)	
「読むこと」の指導において、登場人物の心情の移り変わりを判断する根拠として、文章のどこを手がかりにして読み取ればよいのかを考えさせる指導を行った。	H29	99.6	国語の授業では、場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語などの文章を読んでいます。	H29	76.3
	H18	96.8		H18	55.0

※同一内容の質問事項は、平成18年度より開始しているため、平成18年度と平成29年度で比較する。

学校質問紙と生徒質問紙との意識の差には、まだまだ差があるものの、これまでの取組により、授業改善が進むとともに、生徒の叙述に着目して読む意識も高まるなど、成果が上がってきています。今後も、引き続きこれまでの指導改善の在り方を踏まえた取組が期待されます。

授業改善のポイント

- まず、作品全体の時間的、空間的な場面の展開や登場人物の性格や心情、相互関係の変容などを大まかに捉えさせましょう。
- 心情を表す象徴性や暗示性の高い叙述に着目させ、そこから考えられる心情について自分の考えを筋道立ててまとめる活動を仕組みましょう。